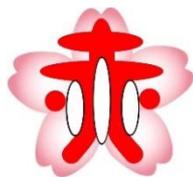


◆学校教育目標：「いのち」を尊び、共に学び、共に輝き、生命力あふれて生きる「あかいつ子」の育成◆

令和2年度 赤井小学校 令和2年8月24日 NO,8

さくら児童会ゆるキャラ



校長室だより 笑顔



◆さくら児童会スローガン：助け合い 夢に向かって あかいつ子◆

さくらだいこくん

笑顔で2学期がスタート！



20日、夏休み明け初日。昇降口は早く登校した児童で混んでいました。小職に挨拶する軽やかで爽やかな声が響きました。誰からも2学期のスタートが待ち遠しい感じが感じられました。教室を回っても元気な挨拶と集中した学習態度が見られ嬉しい気持ちになりました。21日は高学年がプールで涼を求めながら水泳学習に熱心に取り組み泳力を伸ばしました。

保護者の皆様、2学期も本校の教育活動にご協力とご支援をお願い申し上げます。

休み明けでも集中して算数の学習（2年） 小学校最後のプール（6年）



企業よりプレゼント！ 消毒用スタンド寄贈



石巻かほく（新聞）でも紹介されましたが、8月3日に石巻市北村にある三和工業様より足で踏み消毒スタンドを2台寄贈いただきました。三和工業は精密機械を作る会社です。本校の保護者でもある貴社専務より「新型コロナウイルス感染症の流行を受けて何か力になれないかと考えて手を使わずに消毒できるスタンドを発明しました。」とお話がありました。貴社では50台を作り、赤井小学校に2台を贈っていただきました。代表して6年生の木村さんと及川さんが受け取り、お礼の言葉を述べました。地域企業が学校を応援していることに感謝の気持ちを持ち、大切に使用して、新型コロナウイルス感染症（以下コロナ）の感染予防に努めたいと思います。ありがとうございました。



6年生へ！聖火到着式記念品をいただきました

「東京オリンピック2020聖火到着式」は3月に松島基地で行われました。当時の5年生（現6年生）が招待される予定のオリンピック関連行事でしたが、コロナの流行で招待が無くなり寂しい思いをしました。しかし、聖火到着式の参加記念のジャンパー（5枚）とバックとバッチ（全員）を東松島市よりいただきました。

贈呈式には本校代表として6年生川村さんが出席し、市長から記念品をいただきました。来年無事にオリンピックが開催されることを願い、全校児童へお披露目する予定です。

いただいたジャンパーを着て、記念品贈呈式の様子を校長室で報告してくれました。→





子ども未来サミットから「シリーズ 確かな学力を身に付ける 3」



「今回は、本校の見える学力（国語・算数）の取組について取り上げます。」と予告をしていましたが、今回は東松島市教育委員会主催の「子ども未来サミット」（8月1日：矢本東市民センター）の様子から、「学力とスマホ、ゲームの関連」を紹介して、学力や生きる力の育成に小・中学生の発達段階で必要なことは何かを考えていきたいと思います。

★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆

「子ども未来サミット」は今年が初開催です。「心あったかイトころ運動」の一環として東松島市の子供たちのよりよい未来に向けて、小・中学生自身が課題を捉え、解決に向けて話し合い、まとめたことを各学校へ広げ、小・中学校生が一つになって取り組む「主体的・対話的で深い学び」の活動です。今年度のテーマは「メディアコントロール」です。本校からは代表して4名（本田さん、今野さん、齋藤さん、遠藤さん）が参加して基調講演を聞いた後、本校の取組を紹介してディスカッションで意見を述べました。

【基調講演】 演題「脳の発達とスマホやゲームの関わり方」

講師：東北大学加齢医学研究所 教授 医師 瀧 靖之氏

※抜粋して紹介します。

□脳には何か習得するにあたって良いタイミング（臨界期）がある。

0歳⇒愛着形成 1歳⇒読み聞かせ 2歳⇒知的好奇心 3～5歳⇒運動・音楽
8～10歳⇒英語 小・中学生⇒コミュニケーション

□知的好奇心を高めるには仮想世界と現実世界を結びつけることが大切。

絵本や図鑑を見て興味を持つものがあつたら本物を見せに行く（動物園、水族館等）。
子供はまねをするので好奇心を持ったものを親も自ら行い、一緒に楽しむ。

□アウトドアの世界を体験する。

「運動」「コミュニケーション」「好奇心」の要素があるアウトドア体験は子供の脳に非常に良い刺激になる。（虫取り、釣り、クッキング、ウォーキング、キャンプ等）

□熱中体験ができるとうよい。

「面白くてしょうがない」「とことん突き詰める」という好きなことの熱中体験は脳の発達に重要である。好きなことを認め励まし自己肯定感も高める。

□メディアが脳発達に与える影響は。

子供の共感性が昔に比べ落ちている。ネットの上で文字だけの会話やゲームではコミュニケーションや体験の時間が減っていき、脳の成長には良くない。

□ゲーム中毒とは。

直接的な身体・脳への影響だけでなく、食事・睡眠・コミュニケーションなどの基本的な生活習慣まで阻んでしまうことが問題である。ゲームの時間を決める。

□食事・睡眠は大切。

朝食は甘いものでない方がよい。菓子パンよりパン。パンよりごはん。睡眠は十分に取る。

学力を身に付けることは、教え方、学び方、学習時間等だけではなく、その環境を整えることも大変重要です。今回、脳科学の視点で学力についてお伝えしました。昔から言う「早寝、早起き、朝ごはん」と繋がっていることが分かります。

上記講演の中で「できること」から、お子さんと一緒にしてみたいかがでしょうか。

10年後、20年後のお子さんの成長した姿を想像しながら・・・。



ディスカッションで中学生とも交流



各班、今後の取組を発表



終了後。立派でした。

本サミットは会場が密になることから SNS で配信しました。小職は会場で参加しましたが、小・中学生の熱中した議論に大変驚かされました。提案されたことをさくら児童会で協議し、よりよくメディアと付き合う方法を子供たちは作り上げてくれると思います。

★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆★★★★☆☆

始業式の日にコロナの新しいガイドラインを配布しました。予防は家庭と学校が共通して取り組みましょう。よろしくお願いします。